

シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

△警告 — 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**

△注意 — 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

△注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。
使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。
また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。

△注意 下記の物は積載しないでください。
スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン・ポール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック等の風抵抗の大きいもの

△注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。
又積載物がキャリアからはみ出す場合ははみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

品番	積載物の制限(単位=mm)		
	長さ	幅	高さ
ZM-333NV	2500	1090	600

取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。
→締付け部にユルミがあると、**思わぬ脱落事故を起こします。**
- △警告 初期ユルミが発生しますので、**初回30キロ走行後**には必ず各締付け部を増締めしてください。
- △警告 キャリアの装着時は特に**法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル**等の過酷な避け、悪路では徐行してください。
- △警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をキャリアに固定する際は“脚部”を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください
→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 キャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

保守・保管方法について

- △注意 本体・ネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、**組立て時及び1ヵ月に一度は**行ってください。
- △注意 キャリアの表面にキズ等が付きましたら、その部分からサビが発生しますのでタッチペン等で補修してください。
- △注意 キャリアを保管する場合はきれいに清掃し防錆処理を行った上で湿気のない場所で保管してください。

海外使用について

本製品は、日本国内使用専用となります。海外(他国)使用により発生した際の品質保証は一切お受けいたしておりませんのでご注意ください。(対外規格は取得しておりません。)また万一の事故、損害等のあらゆる責務に対しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより**万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。**

事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

- (1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
- (2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
- (3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

ZMシリーズ 取扱い説明書

品番 / ZM-333NV

この度はロッキールーフキャリア「ZMシリーズ/高耐食溶融めっき製」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。

尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。

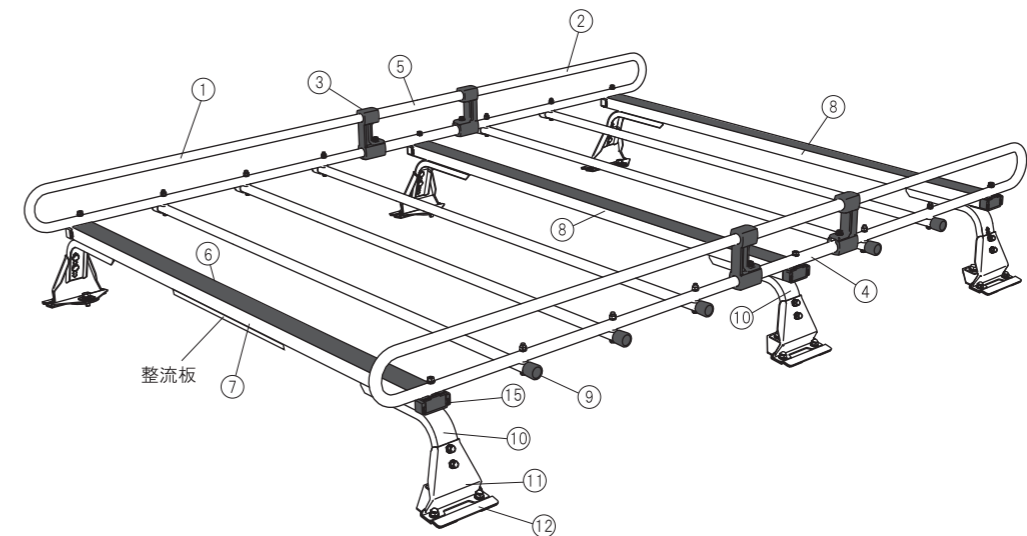
製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承願います。

ご使用前に

- △警告 本製品は、ニッサン・NV200バネット(VM20系)/三菱・デリカバン(BVM20系)専用キャリアになります。他の車両には取付けないでください。
- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
「例」 ・部品類の穴あけ加工、溶接 ・看板の取付け
・市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
・本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
・荷受け部全面に板を敷く
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- △注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。
又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。
「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	U型サイドフレーム(前/長)	2	⑨	キャップ付パイプ	5	⑰	丸ネジM6	10	⑳	袋ナットM6	24
②	U型サイドフレーム(前/短)	2	⑩	脚ステー	6	⑱	バネ座金M6	24	㉑	六角ボルトM8	6
③	コネクター	4	⑪	インナーランプ	6	⑲	ナイロンワッシャー	16	㉒	角座金(防水ゴムシート付)	6
④	パイプ(穴・有)	2	⑫	ルーフ金具(ゴム付)	6	⑳	ゴムパッキン	10	㉓	平座金M8	6
⑤	パイプ(穴・無)	2	⑬	ナットプレート	6	㉑	ナイロンナットM6	10	㉔	バネ座金M8	6
⑥	ラバー	3	⑭	フレームチャンネル金具	6	㉒	キャップボルトセットM6	12	㉕	L型レンチ	1
⑦	フレームチャンネル(整流板付)	1	⑮	フレームキャップ	6	㉓	角根ボルトM6	24	㉖	塩ビテープ	6
⑧	フレームチャンネル	2	⑯	六角ボルトセットM6	6	㉔	平座金M6	24	㉗	透明チューブ	1
									㉘	結束バンド	1

組立て方法①

△注意 *キャリアの組立て時はケガ防止のため、滑り止め付軍手を使用してください。
*キャリアの組立て時にラチェットレンチを使用の場合は締め過ぎによりボルトやナットの破損の恐れがある為、締め過ぎには十分に注意して締付けてください。指示のない締め付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。

1. 「前」・「中間」・「後」の脚セットを各2セット組立てます。〔図-1〕

【前脚セット】

⑩脚ステーの「上から2番目の◇穴と6番目の◇穴」〔図-2-A〕に⑪インナークランプを組付け、⑳角根ボルトM6、㉑平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓袋ナットM6にて仮組付けし、次に㉔ルーフ金具の凹部角穴と⑪インナークランプ下面の角穴を合わせて下から㉑角根ボルトM6、㉒平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓袋ナットM6にて仮組付けます。

【中間脚セット】

⑩脚ステーの「最上部の◇穴と5番目の◇穴」〔図-2-A〕に⑪インナークランプを組付け、㉑角根ボルトM6、㉒平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓袋ナットM6にて仮組付けし、次に㉔ルーフ金具の凹部角穴と⑪インナークランプ下面の角穴を合わせて下から㉑角根ボルトM6、㉒平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓袋ナットM6にて仮組付けます。

【後脚セット】

⑩脚ステーの「下から2番目の◇穴と6番目の◇穴」〔図-2-A〕に⑪インナークランプを組付け、㉑角根ボルトM6、㉒平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓袋ナットM6にて仮組付けし、次に㉔ルーフ金具の凹部角穴と⑪インナークランプ下面の角穴を合わせて下から㉑角根ボルトM6、㉒平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓袋ナットM6にて仮組付けます。

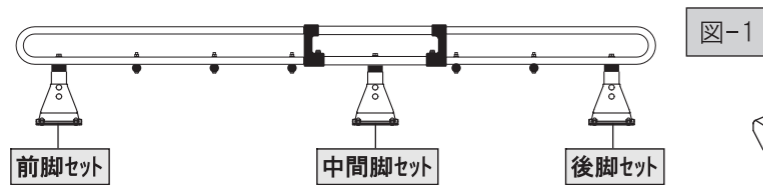


図-1

〔図-2-A〕

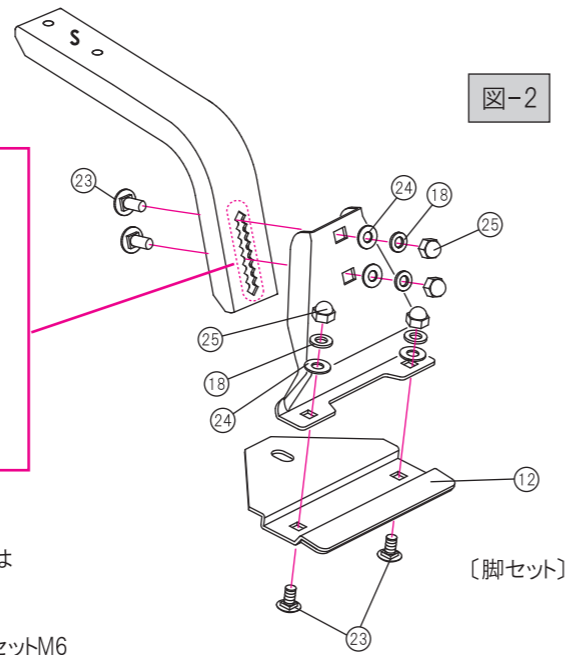
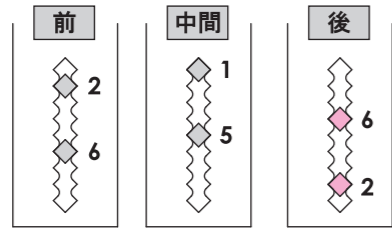


図-2

〔脚セット〕

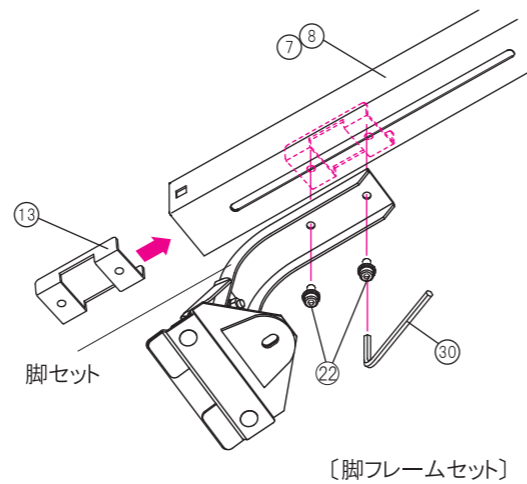
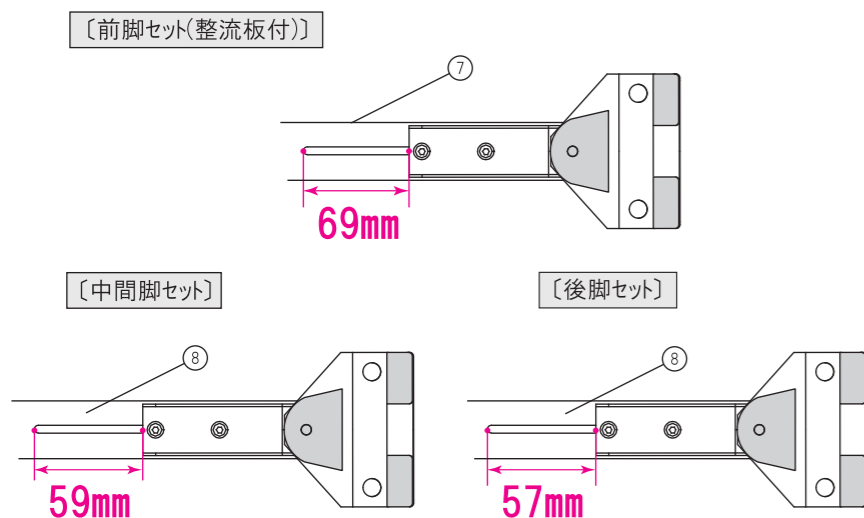
2. 「前」・「中間」・「後」の脚フレームセットを各1セット組立てます。

⑦フレームチャンネル(整流板付)には「前脚セット」を⑧フレームチャンネルには「中間」と「後」を組付けしてください。

⑦⑧フレームチャンネルの中に⑬ナットプレート(天地の向きに注意して)を入れ脚セットを⑦⑧フレームチャンネル下のスライド穴にあてがい㉑キャップボルトセットM6にて図の寸法に従って仮組付けます。〔図-3〕

△注意 車両に取付ける際にキャリア幅の調整を行うため、必ずこの段階ではスライドする程度の仮締め状態にしてください。

図-3



〔脚フレームセット〕

組立て方法②

3. ⑦⑧フレームチャンネルに⑥ラバーを通します。〔図-3〕
⑥ラバーを通す際は⑦⑧フレームチャンネルの端から「16ミリ」空けた状態にしておいてください。〔図-4-A〕

〔図-4-A〕

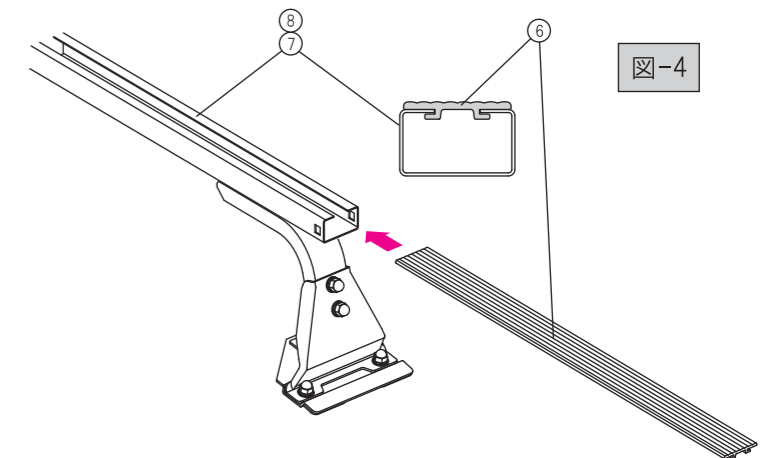
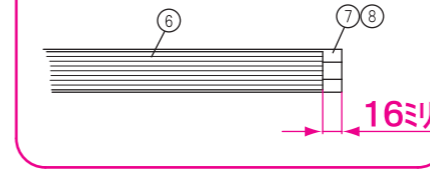


図-4

4. 「脚フレームセット」の⑦⑧フレームチャンネルの両端に⑭フレームチャンネル金具を入れておきます。
入れる際は⑦⑧フレームチャンネルの角穴の内側から⑭フレームチャンネル金具を斜めに入れ反対側の角穴に引っ掛けます〔図-5〕

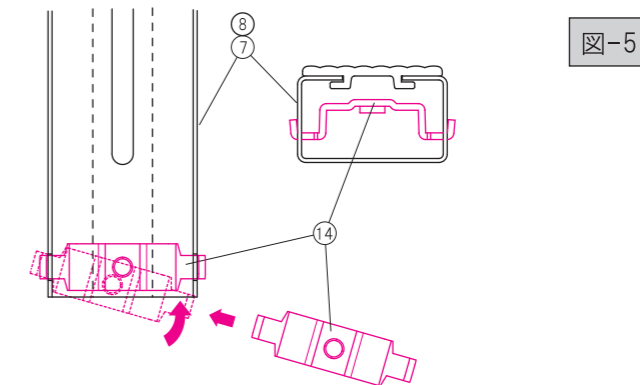
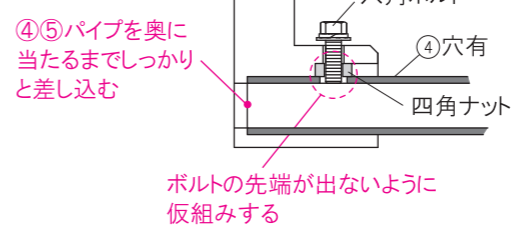


図-5

5. 「コネクターセット」を組立てます。③コネクターに組付けてある六角ボルトを一旦ゆるめます。③コネクターの上の差込口に⑤パイプ(穴無)を差込み、下の差込口には④パイプ(穴有)のパイプの先端穴が上になるように差込み、手で軽く六角ボルトで仮止めします。

△注意 この時、④⑤パイプは③コネクターの奥に当たるまでしっかりと差込みます。そして六角ボルトの先端が④パイプ(穴有)の先端穴から絶対に出ないようにしてください。〔図-6-A〕
ボルトの先端が飛び出した状態で仮止めすると次の工程〔組立て方法③-6〕で①②U型サイドフレームの先端が六角ボルトに当り奥まで入らないので先端を飛び出さないでください。

〔図-6-A〕



ボルトの先端が出ないように仮組みする

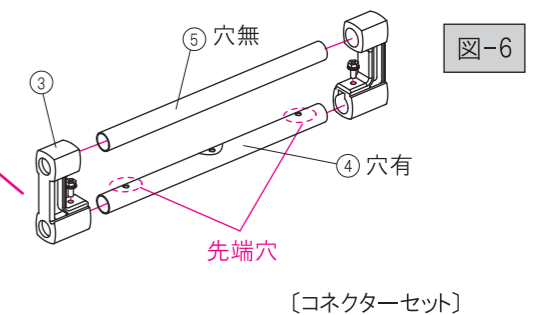


図-6

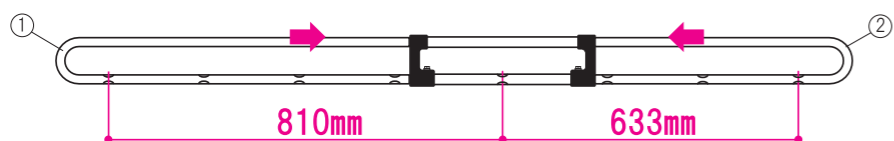
〔コネクターセット〕

裏面「組立て方法③」へお進みください

組立て方法③

6. 「Uサイドフレームセット」を組立ています。①②U型サイドフレームを「5」で組立てたコネクターの外側から下記の寸法(穴から穴)になるように差込み、仮組みしている「六角ボルトセット」をしっかりと締付けます。〔図-7〕

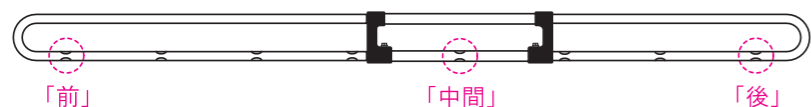
△注意 締付けを行う際は締め過ぎによるコネクターの破損に十分気を付けてください。締付けトルクの目安は「六角ボルトセット」に組み込まれているバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。



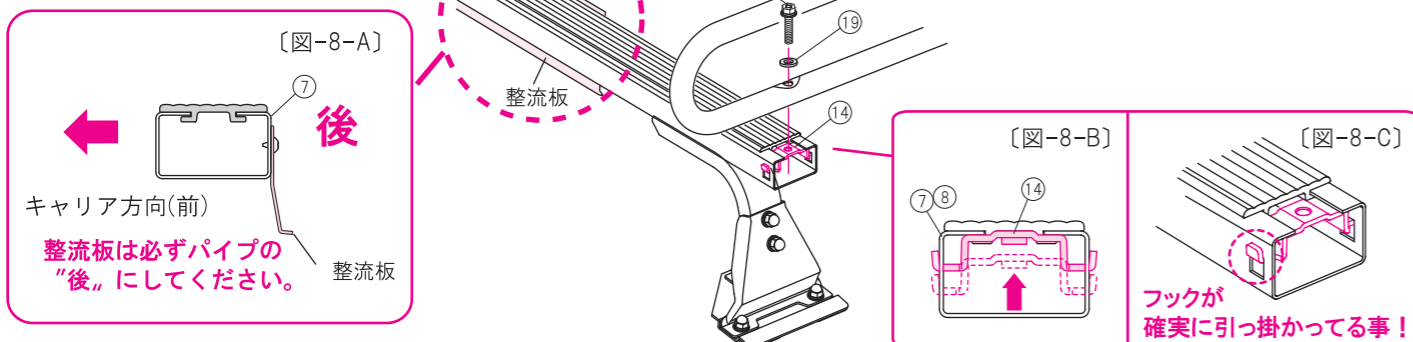
〔図-7〕

7. 「2」で組立てた脚フレームセット「前」「中間」「後」に「6」で組立てたUサイドフレームセットを組付けます。〔図-8〕
 この時⑦フレームチャンネル(整流板付)を組付ける際は、「整流板」が必ずフレームチャンネルの「後」にある状態で組付けてください。〔図-8-A〕フレームチャンネルの「前」に整流板があると高速走行時に異音が発生します。
 ⑦⑧フレームチャンネル両端上面の16ミリ空いている所に①②U型サイドフレームと④パイプ(穴有)載せ、⑯ナイロンワッシャー、⑯六角ボルトセットM6にてしっかりと締付けます。締付けの際は⑭フレームチャンネル金具を指で上に上げた状態で締付けを行ってください。〔図-8-B〕この時、⑭フレームチャンネル金具の両端のL型フックが⑦⑧フレームチャンネルの角穴に確実に引っ掛かった状態であることを確認してください。〔図-8-C〕

〔Uサイドフレームセット〕

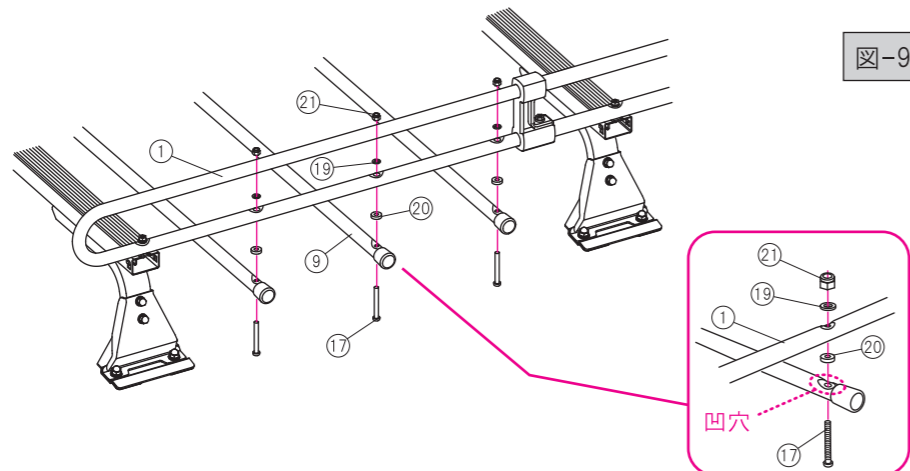


〔図-8〕



8. ⑨キャップ付パイプの凹穴が上になるよう向きに注意して下から⑰丸ネジM6を通し、⑳ゴムパッキンをはめ①②U型サイドフレームをまたいで、⑲ナイロンワッシャー、㉑ナイロンナットM6にて①②U型サイドフレームにしっかりと取付けます。〔図-9〕

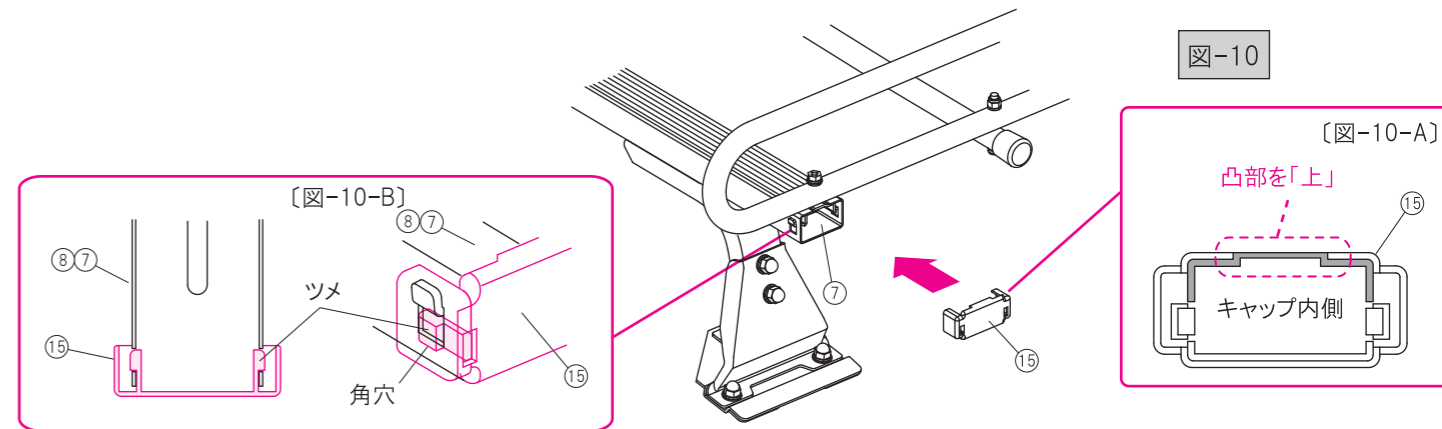
△注意 ⑨キャップ付パイプは必ず①U型サイドフレームの「下」に取付けてください。「上」で固定されるとサビ発生の原因になります。



〔図-9〕

組立て方法④

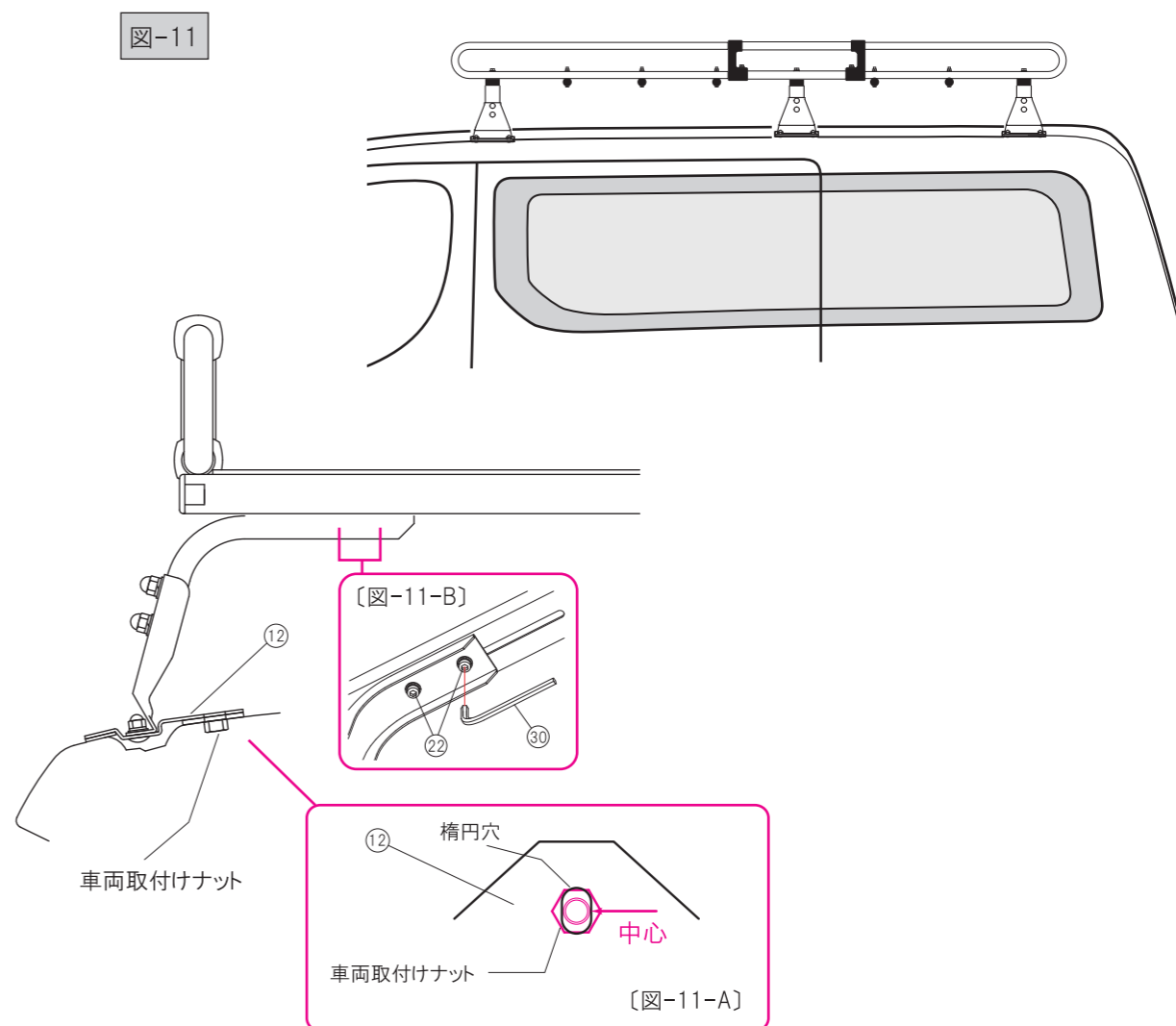
9. ⑦⑧フレームチャンネルの先端に⑮フレームキャップを組付けます。〔図-10〕この時、⑮フレームキャップの凸部を上にした状態で〔図-10-A〕⑦⑧フレームチャンネル先端横の角穴に⑮フレームキャップのツメを引っ掛けます。〔図-10-B〕



取付け方法①

△注意 キャリアを車両に取付けの際は必ず2人以上で安全な場所で行ってください。屋根の傷や凹み、キャリアの破損防止になります。

1. ルーフに付いている丸いキャップ(6ヶ所)外すとキャリアを取付けるための「車両取付けナット」が装備されています。ルーフ周辺の埃や汚れをきれいに拭き取り、キャリアの前後の注意してルーフにゆっくりと載せ取付け位置に合わせます。〔図-11〕
 「脚フレームセット」の⑫ルーフ金具をルーフの凹部にまたがせ、⑫ルーフ金具の楕円穴の中心に「車両取付けナット」がくるようにキャリア幅の調整を行います。〔図-11-A〕調整後、「組立て方法①-2」で仮締め状態の⑫キャップボルトセットM6をしっかりと締付けます。〔図-11-B〕



取付け方法②

2. ②⑥六角ボルトM8に ②⑨バネ座金M8、②⑧平座金M8、②⑦角座金(防水ゴムシート面を下にする)をセットします。〔図-12-A〕
 セットした「六角ボルトセット」を先程の穴位置合わせを行った⑫ルーフ金具の楕円穴から「車両の取付けナット」へしっかりと取付けます。〔図-12〕

△注意 この時、②⑦角座金の防水ゴムシートの穴が小さくボルトを入れる際に窮屈ですがゆっくりとボルトの根元近くまで入れてください。

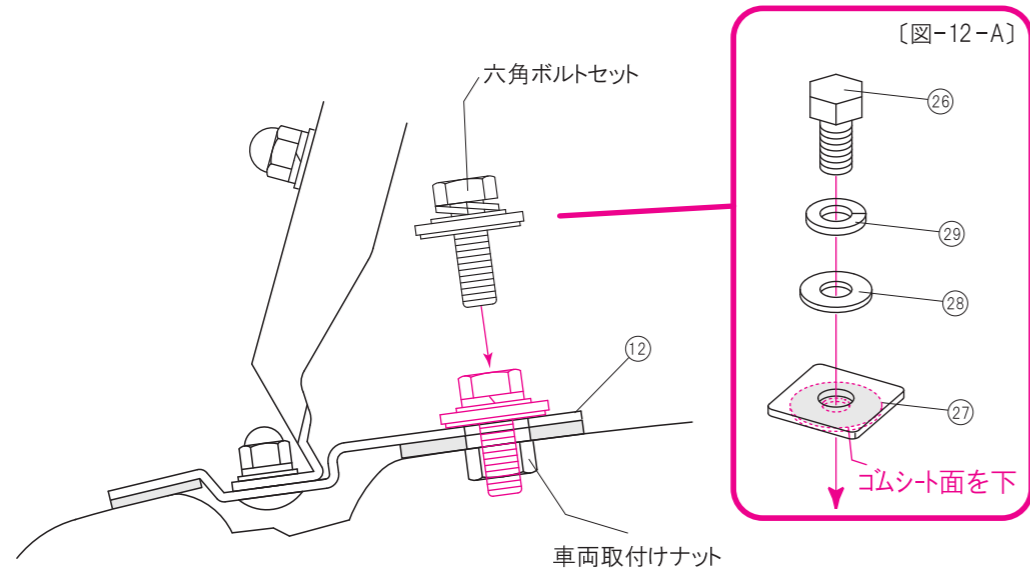


図-12

3. ⑫ルーフ金具をルーフの傾斜になじませてから、「組立て方法①-1」で仮組付けの状態である3か所の ②⑤袋ナットM6をしっかりと締付けます。〔図-13〕

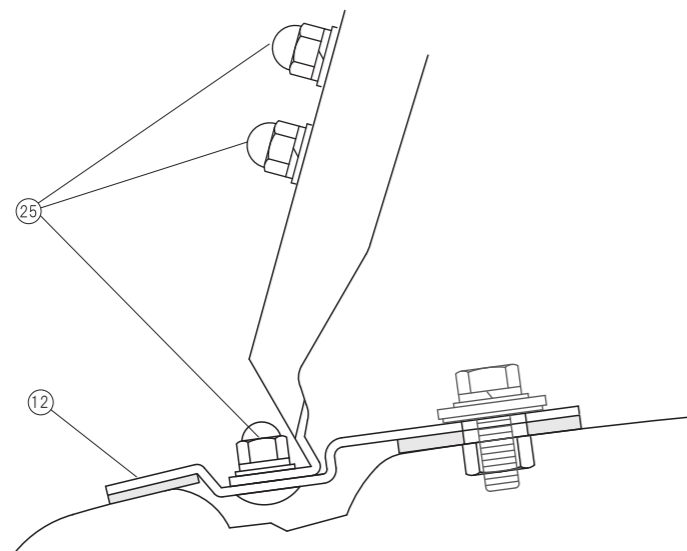


図-13

取付け方法③

4. 運転席側前方の①U型サイドフレームの下のパイプと車両のラジオアンテナを固定します。
 ラジオアンテナの先から ③②透明チューブを通し、アンテナと①U型サイドフレームの下のパイプとが接触する所を③②透明チューブで保護し ③③結束バンドでしっかりと固定します。〔図-14〕

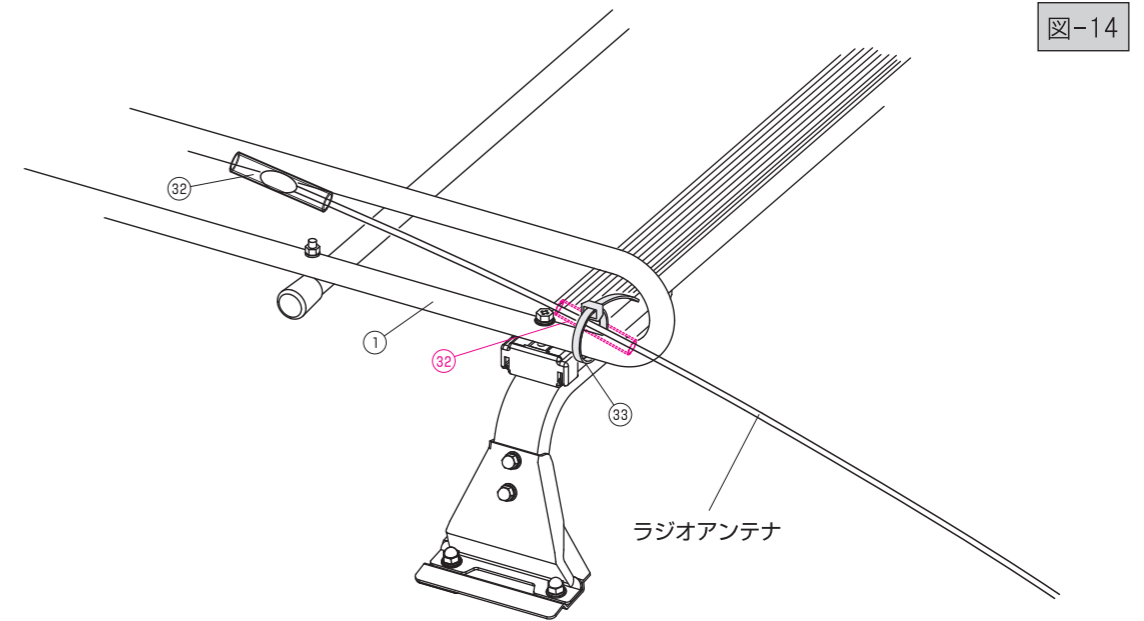


図-14

5. キャリア取付け後、⑦⑧フレームチャンネル下のスライド穴を③①塩ビテープで塞ぎます。〔図-15〕

△注意 **必ずスライド穴を塞いでください。**
 この作業を怠ると走行中に笛を吹いたような異音が発生し、また雨天や洗車時には水が侵入するためサビ発生の原因になります。

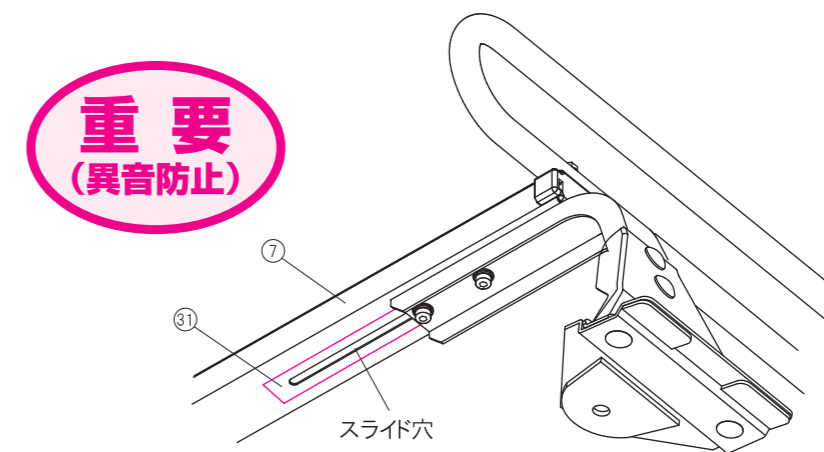


図-15

△注意：キャリア取付け後の確認を！！

- ⑦⑧フレームチャンネル下のスライド穴が③①塩ビテープで確実に塞いでいるか確認してください。
- キャリアを前後左右に揺すり、ズレ、やゝガタツキ、が無い事を確認してください。
- キャリアを手ひらで数ヶ所叩いて、各締付け部にユルミがないかを確認してください。ユルミがある場合は、ビビリ音、がします。
- キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。定期的に締付部の増締めを習慣に行ってください。